

有明莊特別會計

令和元年度 有明荘特別会計の概要

観光宿泊施設（安曇野市有明荘）について、指定管理者制度を導入し、民間事業者の視点による経営ノウハウ等を活用することにより、業務のスリム化、経営の効率化及びサービスの向上を図りました。

前年度までは、観光宿泊施設特別会計として、2施設（安曇野市長峰荘、安曇野市有明荘）の運営をしていましたが、明科地域の長峰荘については公共施設再配置計画に則り、平成31年4月1日をもって民間譲渡し、令和元年度は民間施設として運営して頂いています。

有明荘につきましては平成28年4月1日から令和3年3月31日までの指定管理期間となっており、令和元年度は基本協定に定める3,620千円の納付が指定管理者からありました。

令和2年度	
部	商工観光部
課	観光交流促進課
係等	拠点維持整備係

決算書 ページ	388
------------	-----

予算	款	01	施設事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	施設事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	有明荘施設管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①	
8,031,000	8,023,185	0	7,815	99.9%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,023,000		一般会計繰入金	4,403,000		
		有明荘外施設使用料	3,620,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市が所有する観光宿泊施設（有明荘）について、指定管理者制度を活用し、民間事業者の視点による業務のスリム化及び効率化を図りサービスの向上に努めました。

有明荘については、4月20日から11月24日まで219日営業を行いました。本施設は、国民宿舎ではありますが、宿泊者の9割以上が登山者という特殊性があります。

近年は、日帰り登山などが増えたことや施設の老朽化・陳腐化なども影響し、宿泊者は年々微減しています。令和元年度は、宿泊者が前年度比4.1%減、入浴者数が前年度比6.8%減となりました。

○有明荘の概要

指定管理者	株式会社燕山荘		
指定管理料	なし	市への納付金	3,620,000円
利用者数	宿泊者 4,024人（前年度比170人減） 入浴者 10,562人（前年度比773人減）		
主な修繕	排水管修繕	194,400円	
	F R Pタンク修繕	1,243,000円	
	温泉管洗浄	203,100円	
主な工事	高圧遮断器取替工事	621,000円	
	外壁塗装屋根補修工事	836,000円	
	照明器具LED化工事	1,246,300円	

上記の評価と課題等

指定管理者への委託により、民間の経営ノウハウを活用した施設運営を行うことで、業務のスリム化及びサービスの向上を図ることができました。有明荘については宿泊者の9割以上が登山者であることから、活動時間の異なる一般客を誘客しづらい施設ですが、指定管理者による工夫などにより、利用者から高い評価を得ています。

しかし、建物が耐震基準を満たしていない、施設の老朽化による修繕費の増加、設備等が古く他の民間施設に比べて陳腐化が進んでいるなどの課題があることから、今後競争力を持って運営を続けるためには、耐震改修・大規模修繕が必要と考えられ、施設の在り方を含め検討していく必要があります。